

学校紹介

学校法人奥野木学園 不二女子高等学校

〒272-0021 市川市八幡4-5-7
TEL 047-333-6345

1978年不二女子高等学校を開設し、現在に至ります。

真に生きる力を身につけ、人間の歴史を受け継ぎ、その発展を推し進めていくために「人間の大切さを学び、一人ひとりがかけがえのない存在であることを知る」「真理を探究し、科学的なものの見方を身につける」ことを教育目標とし、少人数制によるきめ細やかな対応で生徒一人ひとりを見守っています。



- ① 模擬店の裏方は母も強力助っ人として参加。② 風船飛ばしは7回生発案の伝統。③ 生徒会長の田澤紗弥さん。④ 父親の会の模擬店も大繁盛。⑤ イイ笑顔! ⑥ 「玄関の飾り付け、これでいい?」⑦ 「先生も出てるじゃん」と大受け。⑧ 午後に行われたダンス部のファンキーなステージ。⑨ お父さんも「娘の成長をみる良い機会」と嬉しそう。⑩ パネルを何枚もつなげてめくって見せる巨大絵画も舞台の見どころの一つ。⑪ 生徒会は2カ月練習した和太鼓を披露。⑫ 吹奏学部の発表会。⑬ 全員が必ず1度は舞台上がる。⑭ 2年C組担任の鈴木康之先生も出演。⑮ オリンピックの歴史を発表した1年生にとってはアテネオリンピックも印象深い。



歌と踊りとパネル絵が自慢だよ



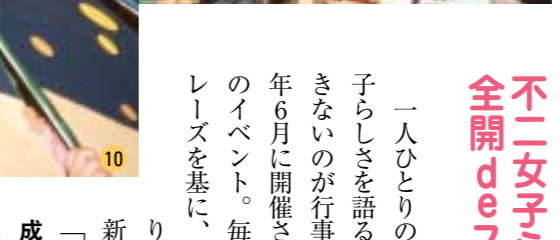
我々は工事中の新校舎で働く役



各学年の舞台発表がメインです



新校舎で初めての文化祭!



深い感動と、達成感を体感する

全員参加、すべて手づくり

翌檜祭

あすなる



「明日は檜になろう」と「一生懸命に頑張る翌檜の木。未熟ながらも毎日頑張る、成長していく自分たちとイメージを重ねて「翌檜祭」と名付けられた不二女子の文化祭。」
「全員参加、すべて手づくり」のモットーは、もともと元気で輝く不二女子になろうと7回生(第7回卒業生)が残してくれた伝統です。

不二女子らしさ 全開 de スタート

一人ひとりの個性を尊重する不二女子らしさを語る上で、欠かすことができないのが行事活動です。なかでも毎年6月に開催される「翌檜祭」は最大のイベント。毎回、一つのキャッチフレーズを基に、全員が一致団結して取り組めます。25回を数え、新校舎が完成した今回は「2004年 新校舎完成 また新しい一歩を踏み出そう!! 不二女子らしさ全開 de スタート」です。

「翌檜祭」の特徴は、各学年ごとに発表される学年企画にあるといえます。今年の1年生は「オリンピック開催」、2年生は「不二女子の歴史を振り返る、そして未来」、3年生は「私たちの修学旅行」をテーマに掲げま

した。
一人ひとりが意見を出し合い、テーマ別にみんなで取材をしながら取り組む企画発表。楽しさ面白さを盛り込んだシナリオを練り上げていく作業には2カ月余りを費やします。先生に重要な役割を振り当てるといふ生徒たちのユーモアも採り入れ、躍動感あふれる歌やダンスでミュージカル風のシナリオがで上がりました。特に3年生は、生徒たちだけでつくり上げています。
見る者をぐいぐい引きつけ、次々に繰り上げられる大型立体パネル、舞台全体を使ったひな壇仕立てのパネル画めくり、その美しい見事なでき映えに会場から思わず拍手と歓声が沸き起こりました。すべてが手づくりで、学校全体が一体となって仕上げたものです。「みんなで作るのは大変だけれど、やった後に自分の中に必ず残るものがある」と、生徒会長の田澤紗弥さん(3年生)が語った言葉にすべてが凝縮されているようです。
さまざまな願いを込めた盛大な風船飛ばしで、セレモニーは締めくくられました。
新校舎玄関ホール右手に掲げられたパネルにある「学校は人間の大切さを学ぶ所」は19回生が残した言葉です。不二女子の先輩たちが残してくれたものと心を大切に守り、一人ひとりが明日へとばたいていこうとする姿は、翌檜というより、立派な檜のようでした。